



四国森林管理局

# 徳島森林管理署 とくしま通信

## 今後5年間における民国連携を確認しました

今年度、徳島署では徳島県、三好市、事業者及び徳島署からなる「**ケーススタディ会議**」を設置し、三好市地区における民国連携の実現に向けた調整や現地検討会などに取り組んでいます。1月31日、第5回目の会議を開催し、**次期5年間(H29.4-H34.3)における民国連携(協調施業・販売など)について最終調整**を行いました。また、今回は、四国森林管理局、徳島署が取り組んでいる**ニホンジカ対策について説明し、今後のニホンジカ対策の有機的な連携について調整**を図りました。徳島署では、今回確認した内容に基づき、次年度以降、民国連携の取組が実現するよう積極的に取り組んでいきます。



会議の様子



図上で施業箇所を確認



徳島県からの意見



事業者からの意見

## 民国連携の取組を発信しました

1月24日、四国森林管理局大会議室で開催された「**四国森林・林業研究発表会**」において、徳島署が取り組んでいる民国連携について、「**徳島署における民国連携の取組**」と題して発表しました。発表では、地域の森林・林業を再生するための課題の把握手法や、それらの課題解決に向けた今年度の活動内容について、具体的な事例に基づき発表しました。その後、審査員、会場から「**民国連携に対する職員のモチベーションは？**」などの質問がありました。発表を終え、民国連携の取組の重要性を改めて認識するとともに、具体的な成果については、その効果や要因を分析し、更にそれらが発信していくことの重要性についても認識した1日でした。



研究発表会の様子



徳島署の発表



日本森林林業振興会長賞を受賞



とくしま林業アカデミーは奨励賞を受賞

## 3回目の森林環境教育を行いました

今年度、3回目となる県立那賀高校「**森林クリエイト科**」に対する森林環境教育を1月25日に行いました。

これまで、①森林の種類、②森林の公益的機能をテーマに行ってきましたが、3回目は「**森林施業**」をテーマに講義を行いました。立木を伐採し、加工し、私たち消費者に柱や板など形を変えて届くまで、最低でも50年の時間が必要であること、その多くは、人の力によって手入れが行われていることについて、写真や映像などを用いて、分かりやすく説明しました。また、当日は、先人たちが使用していた大きな鋸や日本最古のチェーンソーなどを教室に持ち込み、実際に生徒に見てもらいました。生徒の多くが興味津々に手に取り、何かを感じてたようでした。



職員による講義



熱心にメモする生徒



森林環境教育の様子



昔の道具を手に取る生徒



徳島署庁舎

四国森林管理局 徳島森林管理署  
 TEL:088-637-1230 / FAX:088-666-1818  
 〒771-0117 徳島県徳島市川内町鶴島239-1

